# 上毛

12 こうげ町広報 December 2010 VOL.62

CONTENTS


● 町の掲示板 …… 2
● 町の話題 …… 8
● 食を育てる …… 11
● カルチャー …… 12
● 町の情報ひろば …… 14
素敵人 …… 16
イルミネーションで明るいまちづくりを進めます

Photo 上毛町フォトクラブ 常慶忠一さん

11月6日(土)～7日(日)、げんきの杜で第5回上毛町文化祭が開催され、多くの来場者で賑わいました。※当日の様子は、10ページで紹介しています。

http://www.town.koge.lg.jp

町の花(春) 桜

町の花(秋) コスモス

町の木 梅


●編集・発行／上毛町役場企画情報課
〒871-0992
福岡県築上郡上毛町大字垂水1321-1
TEL 0979(72)3111
FAX 0979(72)4464

●印刷／築上印刷(有)


## 人の動き

10月31日現在

| | |
|---|---|
| ●人　口 | 8,184 (−10) |
| ●男　性 | 3,890 (−4) |
| ●女　性 | 4,294 (−6) |
| ●世帯数 | 3,102 (±0) |

参考

平成17年10月11日合併時

| | |
|---|---|
| ●人　口 | 8,499 |
| ●世帯数 | 3,057 |

## ごみの量

10月31日現在

| | |
|---|---|
| ●可燃ごみ | 110.66t (-13.39t) |
| ●カン・ペットボトル | 3.25t (-1.97t) |
| ●びん | 4.11t (-2.58t) |
| ●古紙他 | 16.49t (-0.26t) |
| ●可燃粗大 | 3.19t (-0.05t) |
| ●不燃 | 7.75t (+1.22t) |
| ●プラスチック製容器包装 | 1.88t (+0.20t) |
| ●紙パック、白色トレイ | 0.09t (±0.00t) |

PRINTED WITH SOY INK
地球に優しい植物性インク(大豆インク)を使っています。

こうげ KOGE absolute peach 素敵人

# イルミネーションで明るいまちづくりを進めます

冬の静かな夜を温かく彩るイルミネーション。昨年度、町のコンテストに入賞した4名の方々からコメントをいただきましたので紹介します。

H21年度　メルヘン賞

Q1 どうしてイルミネーションに取り組もうと思ったのですか。

Q2 どういった人たちに見てもらいたいですか。

Q3 今年のPRポイントや意気込みを聞かせてください。

### H21年度　大賞 受賞　深田 治美さん(上唐原)

A1 一昨年、当時1歳だった息子が、いろんな所にあるイルミネーションを見て、とても喜んでいたので、それなら自分の家に飾って、子どもを喜ばせてあげよう…と思って。

A2 見て喜んでくださる方なら、どなたにでも!

A3 今年は、レイアウトを変えて、昨年とは違った雰囲気にしたいと思案中です。

### H21年度　メルヘン賞 受賞　安心院 邦彦さん(緒方)

A1 以前から、自分の家を持った時には、少なからずイルミーションを設置したいと思っており、「ほたるの町」事業が始まった際には、これをきっかけに本腰入れて取り組みたいと思いました。

A2 全般ですね。色々な人に、一時の癒しと至福の時を。とにかく、元気を与えたいですね。

A3 近年流行のLEDを使い、明るく温かみのあるイルミネーションで、地域や町に、冬の寒さに負けない癒しを提供したいです。

### H21年度　アイデア賞 受賞　後藤 輝世さん(垂水)

A1 「寒い夜を温かく彩るイルミネーションで明るい町づくりを!!」という事業に賛同したことと、私自身、イルミネーションが大好きなので。

A2 幸い、家が国道に面しているので、会社や学校帰りの方々をはじめ、そこを通られる上毛町内外の方に。

A3 まだ、考えはまとまっていませんが、LEDの投光器を受けて浮かび上がる優しい世界を表現できたら…と思っています。

### H21年度　特別賞 受賞　野村 信男さん(成恒)

A1 8年前に、初孫に喜んでもらおうと思う一心で取り組みを始めました。

A2 地域の皆さまに。

A3 庭に木がたくさんあるので、これを利用したものを考えています。大賞を取るまで頑張ります!

H21年度　大賞

## ここに行けば、出会えます。上毛町のイルミネーション。

ひっそりとした夜のまちにお出かけてしてみませんか。
真っ暗な空間に、明るく温かいイルミネーションのおもてなしを感じることができます。
※点灯箇所については変更になる場合があります。

町を巡れば、ここに掲載されていないイルミネーションにも出会えるかもしれません。ぜひ探してみてください。

**コンテストの参加者を募集しています。**
参加は無料です。詳しくは、広報11月号を御確認ください。
●問い合わせ先　企画情報課 TEL 72-3111(内線122)

## 編集後記

こんにちは。企画情報課の森重了一です。

師走になりました。スケジュール帳を開くたびに、「今年もあとわずか…」と感慨に耽っています。
デフレ、尖閣諸島問題に、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加問題等、明るいニュースの少ない毎日ですが、2010年、町で活き活き輝いている人に、たくさん出会えた事を嬉しく思っています。例えば、体験活動の提供をしてくださった皆さん。8月のほおずき収穫体験に園児を受け入れてくださった加来野さんをはじめ、10月の川底柿「あおし」体験を実施してくださった一木さん、11月の松尾山修験道回峰行で、約35kmの道程を、先頭に立ち一行をゴールへ導いてくれた福本さん等々。皆さん、本当に良い顔していて、実直に活動を楽しんでいることが伝わってきました。人に体験してもらうということは、他人に自身の知識や技術を「伝える」ということ。簡単にできるものではないと思います。みなさんが日々培ってきた努力と経験があってこそ、「伝える」ことができるのではないでしょうか。そして、体験を楽しむ参加者の姿を見ることが、自分たちが住む地域の良さを見つめなおすきっかけとなり、地域アイデンティティを培うことができるのだと思います。そんな皆さんの笑顔に出会えて光栄です。来年もよろしくお願いします。